



理念

1. 信頼される病院
2. 心温まる病院
3. 楽しく働ける病院

基本方針

- ・地域における医療福祉の向上につとめ、地域住民のいのちと健康を守ります。
- ・地域の中核病院として、地域の医療機関と連携・協調を図ります。
- ・二次医療を中心に担当します。
- ・医療需要の増大と多様化に対応できる病院づくりを目指します。
- ・超高齢社会における治す医療と支える医療の両立を目指します。

新年あけまして

おめでとうございませす

病院長 早田 俊司

昨年には皇位継承への準備や、眞子さまのご婚約内定もあり、世の中の景気は不透明ではありますが、その中での慶事であります。当院においては、総合診療医の確保や研修医の研修プログラム構築など、地域医療の充実にご尽力いただいた重政千秋顧問が昨年7月に逝去されました。その悲しみを乗り越えて、来年度の初期臨床研修医は定員5名に、初の5名フルマッチという結果となり、重政先生が草葉の影から喜んでおられる様子が目に浮かびます。

さて、今年は診療報酬・介護報酬の同時改定と鳥取市の中核市移行に伴う保健所業務への介入という、二つの大きな出来事を迎えます。

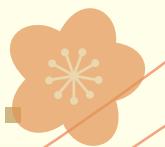
現在の鳥取県東部地区全体の救急医療体制は、量的質的にも低下し、極めて深刻かつ危機的状況であり、当院においては救急医療体制の充実と、更に災害医療への備えも必要と考えています。

これらに対応するため、新年度からは岡山大学救急医学講座の支援のもと、心血管インターベンション学会認定医でもある救急医を招聘し、救急科を新たに標榜する予定であり、併せて災害医療を含めた全国レベルの指導により、二次救急を充実させます。このことは、診療報酬・介護報酬同時改定への経営的戦略ともなります。地域包括ケアシステム確立に向けては、その入り口である二次救急の充実がファーストとなり、地域包括ケア病棟がその出口となつて在宅への橋渡しが使命となります。例えば、高齢者が大腿骨骨折で救急外来を受診して入院、症状が安定して地域包括ケア病棟へ転棟、そして退院、その後肺炎、心血管疾患などの疾病により入院を繰り返して、最終的に終末期在宅医療へと至るといったことがあります。今後このような経過を辿るケースが増えてくることが予測されます。

つまりごく当たり前の救急医療、骨折、外傷、急性腹症、急性冠症候群、脳卒中、重症感染症などへ対応していくことは、地域包括ケアシステムの要であり、新たな機器や特殊な装備を必要とするものではなく、有能な医療者を確保することによって可能となります。

来年度ある程度多職種の人材を確保しましたので、「鉄やコンクリート」ではなく「人にしかできない二次救急医療」を充実させ、地域包括ケアシステム構築の一助となるよう取り組んで参ります。

今年も他院と同じ目的を共有して協調しつつ、東部地区の医療を皆で支えていく所存です。



手洗い・うがい・食事で風邪予防

冬は病原体による風邪が流行しやすい時期。風邪に罹ると咳で喉が痛くなったり、鼻が詰まって寝苦しかったり・・・できればもらいたくないプレゼントです。風邪をもらわないために、手洗い・うがい・食事での免疫強化などのできる限りの予防を

しましょう。

また、12月中旬に鳥取県でのインフルエンザ注意報がアナウンスされました。インフルエンザは毎年1月から2月にかけてピークを向かえるため、これからの時期は特に予防を強化していきましょう。

◆ お家に帰ったらまずは手洗い・うがい！

風邪予防の基本は何といっても、手洗い・うがい。帰宅時はもちろん、食事など手を口元に持っていく場面では事前に手を洗うことが重要です。また、アルコール消毒剤で手を消毒するのも有効な手段です。うがいは、清潔なコップなどを使い異物を外に出してしまいましょう。

風邪ではないですが、冬場によく流行する感染性胃腸炎などが身近に発生した際は、手洗いが更に重要です！

◆ 手洗い手順



感染力の高いインフルエンザなどの感染症は、あらかじめ予防接種を受けておくことをお勧めします。

◆ マスクの着用は正しいですか？

マスクをしている人が「息苦しいから・・・」と言って鼻を出したり、あごにかけているのを見たことがありますか？息苦しさは改善するかもしれませんが、せっかくマスクをしても、咳によって飛沫を飛散さたり、口鼻から病原体を取り入れてしまいます。マスクを着用する際は、

- ① マスクの鼻の部分に来る針金を鼻の形に曲げ、
- ② ヒダが下向きの面を外側にして伸ばし、
- ③ 鼻からあごの下まで覆い、顔にフィットさせて正しく装着しましょう。



◆ 食事バランスよくしっかり摂取

予防していても、ウイルスの侵入を100%防ぐことはできません。体内に入ってしまったウイルスは、強い免疫力で撃退してしまいましょう。

日々の生活から免疫力を獲得する手段として、バランスの良い食事があげられます。その中でもたんぱく質は、免疫細胞を含む細胞の主成分ですので、肉・魚・豆類などでたんぱく質を摂取することで細胞活性化が期待できます。細胞を保持するためにビタミン・ミネラル類も欠かせません。

また、ヒトの免疫力の半分以上は腸にあると言われています。腸内環境を整えるヨーグルトなどの発酵食品と、腸内細菌のエサとなるオリゴ糖、腸内を掃除してくれる食物繊維も摂取していきましょう。

倉繁拓志先生の修業記

その3

ご無沙汰しております。アメリカはもっぱら大谷投手のトレードや、その他政治関連の話題が中心でしたが、我が家庭では10月初旬、妻が体調を崩し、緊急入院するという出来事がありました。幸い妻の体調は快方に向かい、今は元気で過ごしています。

この話には後日談があり、この時点では私の医療保険は渡米して期間が経っていなかったため、まだ十分に機能しておらず、当初届いた請求額が何と約10,000ドル(約110万円)でした。もちろん医療保険は7月から加入していたので、クレームを申し立てると再計算してくれることになり、現在は医療保険でカバーされた金額の請求を待っている段階です。

その後は、ハロウィン(10月31日)、サンクスギビングデー(11月の第4木曜日、今年は11月23日)、と

アメリカならではのイベントを楽しみながら生活しております。12月に入ってからクリスマスイベントで、なんとなくラボの雰囲気もソワソワした感じになっています。

鳥取、クリーブランドともに寒さがこたえる季節が到来、くれぐれもご自愛下さい。



本物のパンプキンからランタンを作りました。



動物園のイルミネーション(クリスマスシーズンVer.)

第45回 市民医療講演会のお知らせ

講演

がん診療におけるPET/CTの役割

鳥取市立病院 放射線科 橋本 政幸

鳥取県のがん対策

～第3次鳥取県がん対策推進計画について～

鳥取県健康政策課 課長補佐 米田 裕一

開催日時

平成30年 1月 27日(土) 10:00～11:30

会場

さざんか会館 5階大会議室

駐車場はさざんか会館駐車場、鳥取市役所駅南庁舎駐車場をご利用ください。

手話を使ってみよう!

あけましておめでとう



人差し指を横にし、上下に並べて「一月一日」の形を作ります。



「おめでとう」の手話をあわせて、「あけましておめでとう」



地域医療総合支援センター
メディカルソーシャルワーカー
山口 恵